



TITLE:

名前のいろいろ

AUTHOR(S):

天文臺人

CITATION:

天文臺人. 名前のいろいろ. 天界 1924, 4(42): 220-222

ISSUE DATE:

1924-06-25

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/160084>

RIGHT:

名前のいろく

天文臺人

七、變光星

變光星のそも／＼最初に發見せられたものは鯨星座のオミクロン星といふことになつてゐるが、當時までは一體星の光りが變化するにさせぬまいふ事は全く考へてはゐなかつたことである。ならばその發見のイキサツはどうかといへば、一六三八年の十二月十六日に月食があつた際にホルワルダといふ人が鯨星座に可なり輝いてゐる星があるのに氣がついたことである。それが翌年の夏頃には全く見えなくなつて終ひながら、また其年の十一月七日になつて再び發見せられたので、茲に於て初めて星の變光現象なるものが發見せられたといはれる譯である。

其後ヘズリウスが注意して觀測した結果、その星の變光現象はもはや疑ひないこと、確かめられたのであるが實に不可思議な現象であるといふところから、ヘズリウスはこれにミラといふ名前をつけたのである。――驚くべき星といふ様な意味である。

この變光星ミラの變光の様子を見るに段々光りを増して肉眼で認められる様になるかと思ふに、また段々光りを失なつ

八

て見えなくなつて終ふ。その浮沈を繰り返す周期が平均三百三十一日とせられて居り可なり長い周期をもつてゐるから長週期變光星といはれる。

これに反してアルゴールといふ變光星があるがそれは極く規則正しい變光現象を呈するものであつて平生には二等級位のもの、三時間半位の間に急に四等級位に下つてやがて二十分間位もその儘で過ぐすに再び三時間半位の間にもこの二等級位の光りに戻るのでその現象が二日と二十時四十九分毎に繰り返されるのである。

この星は一六六九年モンタナリによつて初めて變光星であることが發見せられたものである。アルゴールといふ名前は惡魔といふ様な意味であるそうなる。

其後澤山に發見せられた變光星はその變光の様子に應じて色々な種類に區別せられる。

一、新星

二、長週期變光星

三、不規則變光星

四、短週期變光星

五、アルゴール型變光星

ミラなふに區別する人がある。其内長週期のものを

(イ) ミラ型

(ロ) 双子星座U變光星型
白鳥星座SS變光星型

に別け短周期のものは

(イ) 琴星座 β 星型

(ロ) ケフェウス型

を含むものである。

ケフェウス型變光星は日本では人によつて色々に呼ばれるのでセフェイ式であるとかシーフワイ型であるとか又セフェイド變光星とか随分雑多であるがケフェウス型變光星といふのが穩當でないかと思へられる。

次に個々の變光星についてはぎの様な名前をつけるかといふも夫れにも色々種類がある。

先づ小遊星の發見のときと同じ様に變光星だといふことを發見したならばそれを獨逸にある中央局即ちボツダムの天文學會へ報告する。その年の受付順に 1, 1924 2, 1924 といった風の番號をつけるのである。そしてその變光が果して確實であるといふことが認められたならば順次に確定の名前を附せられるのである。それは各星座について R から初まつて R 變光星 S 變光星といった風に順々に名前をつける。

例へば白鳥星座で發見せられたものは順次に白鳥星座 R 星白鳥星座 S 星同様に T U …… Z 名前をつけたが其次の變光星には二字宛組合はせて

RR RS RT …… RZ とし其次は

SS ST …… SZ を進み ZZ までつけたけれども尙ほ次に發見

せられたものは AA から初めて同じ工合に進むことにした。

AA AB AC …… AZ BB …… BZ といった工合である。

尤もその内に I は使ふが J はつかはない。

白鳥星座では尙ほ足りず CE CF CG …… までに至り龍骨星座では CM を突破した譯である。この儘で進めば QQ から初まつて QZ までゆけば次は再び R 故こまると思はれるがそれにはいくらも方法があることである。

勿論多くの星座の内には變光星の甚しく貧弱なものがあつて R から Z に達しないものもあり水蛇(ヒドルス)星座にはまだ一つも見付かつてゐない。

上述の名稱はアルゲランデルの方法といふべきで前に申した天文學會の四半年報には右の名称が採用せられてゐる。

その外にはチャンドラーの方法がある。それは彼れが主宰してゐたアメリカのアストロノミカル・ジャーナル誌に用ゐられる方法である。

それは變光星の一つ一つの番號を與へる方法であつて星の赤經の順序に付けやうといふのである。勿論發見が相ついで起ること故只の通し番號では到底その目的を達することは出来ない。

そのために、一九〇〇・〇年の赤經を秒(時間の)に直しそれを十にて割つたものをその番號とする。

例へば山羊星座 U 星があるとする。その一九〇〇・〇年の

位置は

$$\alpha = 20^h 42^m 6^s = 129^{\circ} 9' 24''.$$

その赤経を秒に直せば $7556''$ であるから、十分の一(秒位は切捨て、) $7556''$ をその番號とするのである。

しかし此方法では同じ番號をもつべきものが出て來るに相違ない。現に次の如きものがある。

$$\text{山羊座 RR } \alpha = 20^h 42^m 6^s = +42^{\circ} 30' (1900.0)$$

この星に對しては同様に $7556''$ といふ番號を與へるべきであるが $7556''$ といふ番號を與へて置く。別に山羊星座 U 星から苦ジョウも出る譯でなからうからして、

次には文句の出さうな場合がある。それは丁度自分が貰ふ筈の番號のあとさきが、既に他の星に與へてフサがつてゐる場合もないとは限らない。その様な場合にはさうするかさういへば、近所の明き番號を夫れにつけてやる。文句もあらうが辛抱して貰ふのである。

このチャンドラーの方法は考へすぎて不便にちかしい。

も一つの名付け方はレオン・キャンベルの考へ方でアメリカの變光星觀測者協會や、アメリカ通俗天文誌などに主に用ゐられてゐる。

その方法さういへば六つの數字をもつて表はす方法で、初めの四數字は一九〇〇・〇年に於ける赤経の時分の桁の四數字、最後の二數字はその時の赤緯の度の二數字を用ゐる。

例へば

獅子星座 R 星

$$\alpha = 09^h 42^m 10^s 523 \quad \delta = +13^{\circ} 53' 34''.16 \quad (1900.0)$$

に對しては 094211 なる番號を與へる。但し赤緯が負である場合にはイタリックで印刷する。勿論手書するときは下線を引くことは普通の通りである。

この場合にも同じ番號をもつ筈の變光星が出て來ることは致し方がないので、忽ちその例としては双子星座の R と Z は同じ番號 070122 となる。しかし一方を 070123 としては大分意味がちがつて來るからこの命名法では番號の後に a b をつけて區別する——それも發見の順次につける。

双子星座 R 星は 070122a Z 星は 070122b といつた譯である。

この方法は一見して大體の位置が知られるからしてチャンドラーの方法に優ること萬々であるといはねばならない。

なほ新星の場合には白鳥星座に出現した場合には白鳥星座の新星といふ。既に以前に同じ星座に出たことがある場合には白鳥星座新星第何號と呼ぶならばしである。

* * * * *